

お金が貯まる家とお金がドンドン出ていく家

お金が出て行かない家とお金がドンドン出ていく家。

お金が貯まる家とお金が貯まらない家。

家づくりをこのように考えたことはありますか？

お金が全てではないですが、お金は豊かな暮らしや
幸せな人生には必ず必要です。

いい家を安く建てるには？

いい家を予算の中でムダ費用を省き相場より 2 割から 3 割
安く家を建てるには？

そう、ムダな費用を省くだけです。

ただ、これが普通の工務店や建築会社、ハウスメーカーは
できない。

なぜなら売り上げを取りに行っているからです。

自社のことが一番で利益を出すのが一番だと考えているか
ら多々額の広告宣伝費や営業マン、豪華なモデルハウスを使
い

受注拡大を目標に家を建てています。

このように、売り上げや利益を取るのが目標になっている建築会社に家づくりを任せると、経費や利益が大部分を占める価格だけが安い家になります。

価格が高くても品質や性能がそれに見合っていればいいのですが多くの場合は見合っていません。

やはり施主さんにとっての理想の家づくりは、建築業者のムダな経費や利益を省き適正にすることです。

そして、材料費や施工費に予算をまわすことができれば、いい家が安くなります。

今の家づくりには多くのムダ、無駄、むだ、ムダな費用がたくさん入っています。

このムダな費用を全部省けば価格は安くなり、良い家になります。

単純ですが、いい家を安く、安くてもいい家にするにはこの方法しかありません。

たとえば、

2000万円の価格の場合ムダを省けばいくらになるのか？

大体ですが、こうなります。

2000万円の家 1600万円

2500万円の家 1870万円

3000万円の家 2100万円

400万円から900万円くらい安くなるのが現実です。

この金額の差って結構大きくないですか？

要するに自分の家を建てるのに、400万円から900万円も
の大金をムダに使うか、自分のための家に使うのか？

この違いです。

この安くなった分、400万円から900万円の使い道は

あなたの自由です。

品質や性能、耐震耐風のグレードアップに数十万円使っても
いいですね。

太陽光発電を付けるものいいです。

省エネにお金を入れて、冷暖房費を減らすのもいいです。

アフターメンテをしないように外壁や床材のグレードを上げてもいいですね。

理想のいい家を安く建てるという事は、正確にいうと、住宅ローンの金利分も安くなるし将来のアフターメンテの費用、光熱費も少なくすむし、本物の素材や結露対策をした家は長持ちもします。

普通の業者が建てる家が 30 年～35 年くらいしか平均寿命が無いと言われていますが、いい家は 60 年は快適に暮らせるように計画します。

30 年くらいで建て替えるのと 60 年で建て替えるのでは、どうでしょう？

2000 万円で建てた家が 30 年で建て替えする場合と 60 年で建て替えをする場合を考えると 30 年の家は 2000 万円だけど 60 年の家は 30 年長く暮らせるので半分の 1000 万円で建てた家になります。

30 歳で建てたら 60 歳、65 歳でまた建て直し、又は大掛か

りなりリフォーム。

どちらも大金が必要です。

住宅ローンがやっと終わったらまた新築か大掛かりなりリフォームを考えないといけません。

ムダを省いていい家を安く建てることは、目先の金額、見える金額が 400 万円から 900 万円安くなるだけでなく、将来の支払いも大きく減らすことが可能になるということです。

家づくりは息の長いスパンで考えてくださいね。

出来るだけお金が残る家。

出来るだけ家の支払いを少なくできる家。

もっと言えば、お金が貯まる家づくりを提案します。

何かの本で読みましたが、「家は大きな貯金箱」ということを言っていた人がいました。

私も同感で、昔から言っていたのが、資産になる家を建てましょう。

ということです。

家を持つことは浪費ではなく、自分や家族が幸せになるための資産づくりです。

いい家をムダな費用を省き今の家の 2 倍の耐久性を持つ家を作れば大きな貯金箱の出来上がりです。

お金が貯まらない人の特徴は収入よりも出ていくお金が多い人です。

出ていくお金を少なくする家づくりこそあなたや家族が豊かに暮せる家づくりです。

建築業者のブランドや広告宣伝に踊らされお金が貯まらない、お金がドンドン出ていく家づくりはしない方が良いでしょう。

また、アパートにお住いの方も、家賃と言うお金が永遠に出ていく住まい方なので早めに将来を考えた、お金がドンドン貯まる住まいを考えた方が良いでしょう。

家づくりサポートの高井からの提案です。